

Futurize.

きみの意志が、未来。

2023年度 データサイエンス+Rプログラム 自己点検・評価報告書

立命館大学 教学委員会

注) データサイエンス+Rプログラム（応用基礎）に関する外部評価は、2023年度実績を踏まえ 2024年度実施予定

2024年3月18日

科目別 履修者数・修得者数・修得率 (2023年度のみ)

【データサイエンス+Rプログラム（基礎）】

科目名	クラス	期間	開講学部	履修者数	修得者数	修得率
情報技術と社会	J	春	法/国関/映像	112名	96名	85.7%
	S	春	産社/文	191名	144名	75.4%
	E	春	経済/生命/薬/スポ/食マネ	120名	99名	82.5%
	TA	春	理工	93名	81名	87.1%
	TB	秋	理工	111名	95名	85.6%
	GV	秋	経営/政策/総心	160名	146名	91.3%
	GW	春	経営/政策/総心	163名	149名	91.4%
情報倫理と情報技術	K1	春	理工/情理	149名	144名	96.6%
	K2	春	情理	149名	141名	94.6%
	K3	春	情理	151名	147名	97.4%
IR18-AE114 Data literacy for research design	R	秋	国関	12名	10名	83.3%
Introduction to Experimentation	G1	春	情理	66名	50名	75.8%
Professional Ethics	G1	春	情理	70名	67名	95.7%
Algorithm and Programming	IH	春	GLA	23名	21名	91.3%
総計				1,570名	1,390名	88.5%

学部別 履修者数・履修率 (2023年度のみ)

学部	収容定員	履修者数	1回生	2回生	3回生	4回生以上	履修率
法学部	2,880	72	43	7	7	15	2.5%
産業社会学部	3,240	139	69	18	25	27	4.3%
国際関係学部	1,440	44	5	17	11	11	3.2%
文学部	4,085	52	22	13	5	12	1.3%
映像学部	640	8	6	1	1	0	1.3%
経済学部	3,040	46	23	9	6	8	1.5%
理工学部	3,928	207	105	23	54	25	5.3%
情報理工学部	1,980	523	499	5	9	10	26.4%
生命科学部	1,300	15	7	1	6	1	1.2%
薬学部	840	21	21	0	0	0	2.5%
スポーツ健康科学部	940	23	16	2	2	3	2.4%
食マネジメント学部	1,280	15	1	9	0	5	1.2%
経営学部	3,180	180	72	48	23	37	5.7%
政策科学部	1,640	62	56	6	0	0	3.8%
総合心理学部	1,120	81	53	9	11	8	7.2%
グローバル教養学部	400	23	7	15	1	0	4.5%
合計	31,933	1,511	1,005	183	161	162	4.7%

科目別 履修者数・修得者数・修得率 (2023年度のみ)

【データサイエンス+Rプログラム（応用基礎）】

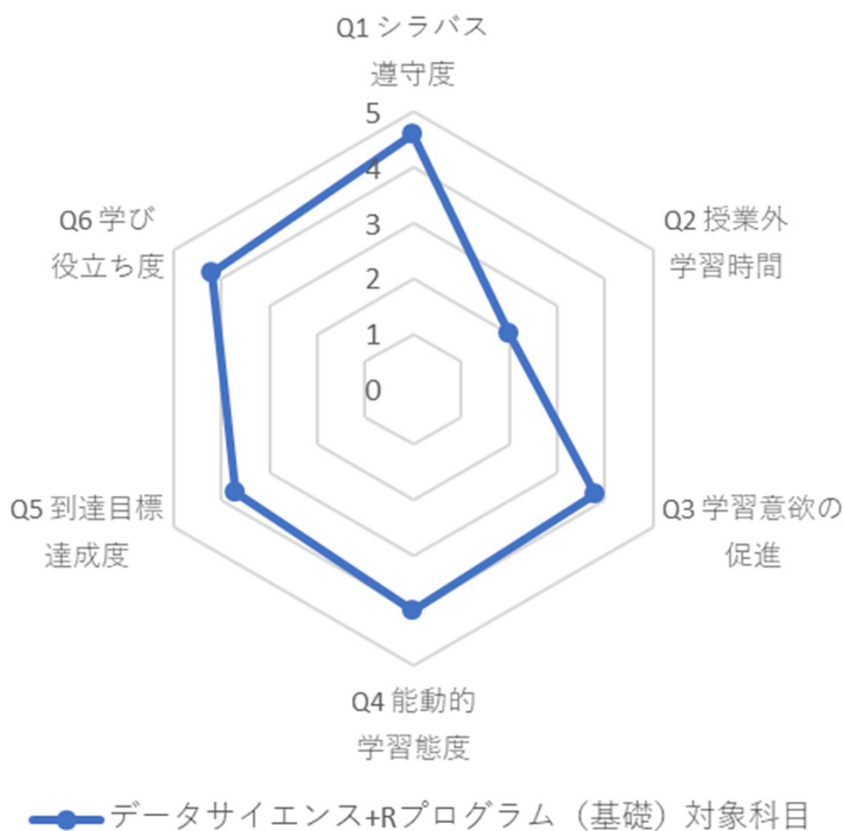
科目名	クラス	期間	開講学部	履修者数	修得者数	修得率
データサイエンス・AI基礎	G1	秋	法産国文映済理情 生薬ス食営政心	199名	189名	95.0%
データエンジニアリング基礎	G1	秋	法産国文映済理情 生薬ス食営政心	201名	185名	92.0%
Foundations of Data Science and AI	G1	秋	法国映情政	46名	44名	95.7%
Foundations of Data Engineering	G1	秋	法国映情政	48名	46名	95.8%
総計				494名	464名	93.9%

学部別 履修者数・履修率 (2023年度のみ)

学部	収容定員	履修者数	1回生	2回生	3回生	4回生以上	履修率
法学部	2,880	10	5	5	0	0	0.3%
産業社会学部	3,240	11	3	8	0	1	0.3%
国際関係学部	1,440	32	7	2	6	17	2.2%
文学部	4,085	28	2	16	4	6	0.6%
映像学部	640	34	8	7	6	13	5.3%
経済学部	3,040	20	0	20	0	0	0.6%
理工学部	3,928	83	18	22	34	9	2.1%
情報理工学部	1,980	75	23	15	33	4	3.7%
生命科学部	1,300	13	1	7	5	0	1.0%
薬学部	840	4	4	0	0	0	0.5%
スポーツ健康科学部	940	2	2	0	0	0	0.2%
食マネジメント学部	1,280	6	2	1	2	1	0.4%
経営学部	3,180	84	15	27	27	15	2.6%
政策科学部	1,640	11	6	5	0	0	0.7%
総合心理学部	1,120	20	5	5	10	0	1.8%
合計	31,933	433	101	140	127	66	1.4%

授業アンケート結果 —データサイエンス+R(基礎)—

授業内容について



設問	回答平均値（前年度）
Q1.シラバス遵守度	4.6 (4.5)
Q2.授業外学習時間	2.0 (2.0)
Q3.学習意欲の促進	3.8 (3.8)
Q4.能動的学習態度	4.0 (4.0)
Q5.到達目標達成度	3.7 (3.7)
Q6.学び役立度	4.2 (4.2)

※Q1: 5点:行われた 4点:ある程度行われた 3点:どちらともいえない 2点:あまり行われなかった 1点:行われなかった
 ※Q2: 5点:180分以上 4.375点:150分以上180分未満 3.75点:120分以上150分未満 3.125点:90分以上120分未満 2.5点:60分以上90分未満 1.875点:30分以上60分未満 1.25点:30分未満 0.625点:しなかった
 ※Q3: 5点:そう思う 4点:ある程度そう思う 3点:どちらともいえない 2点:あまりそう思わない 1点:そう思わない
 ※Q4: 5点:取り組んだ 4点:ある程度取り組んだ 3点:どちらともいえない 2点:あまり取り組まなかった 1点:取り組まなかった
 ※Q5: 5点:達成できた 4点:ある程度達成できた 3点:どちらともいえない 2点:あまり達成できなかった 1点:達成できなかった
 ※Q6: 5点:役立った 4点:ある程度役立った 3点:どちらともいえない 2点:あまり役立たなかった 1点:役立たなかった

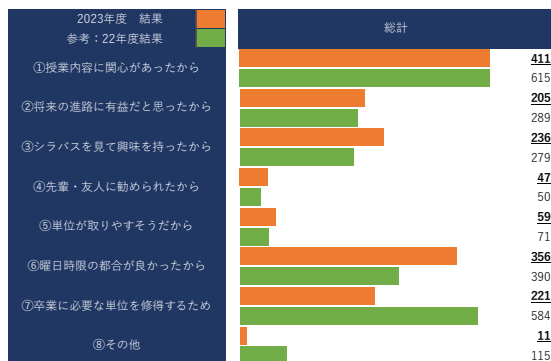
「シラバス遵守度」「能動的学習態度」「学びの役立ち度」で高い値を示している

「シラバス遵守度」が4.6ポイントと高い数値となっているのは、モデルカリキュラムに沿った授業が展開されたことを示している

また、「学びの役立ち度」が高い値となっていることは、学生に今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けさせることができたと考えられる

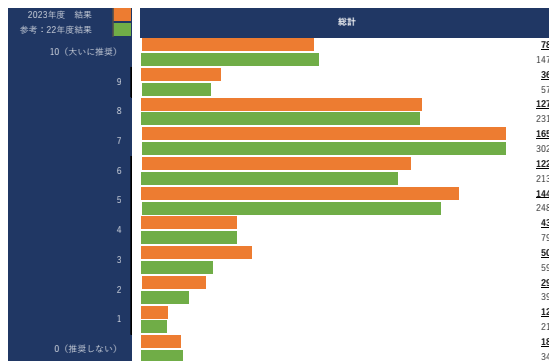
授業アンケート結果 —データサイエンス+R(基礎)—

履修動機について



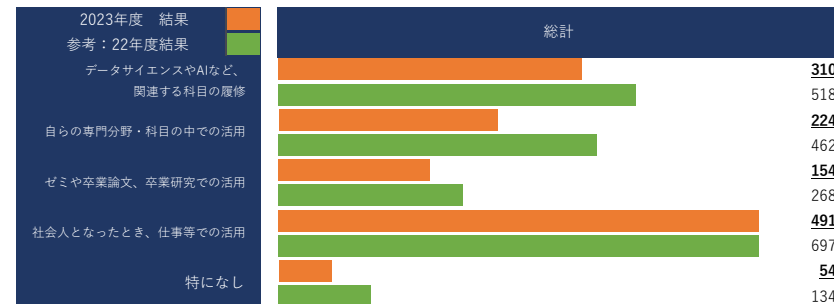
履修動機については、「授業内容に関心があった」が昨年度同様最も多くなった。また授業内容に基づく履修選択傾向が増加したことが確認された。

推奨度について



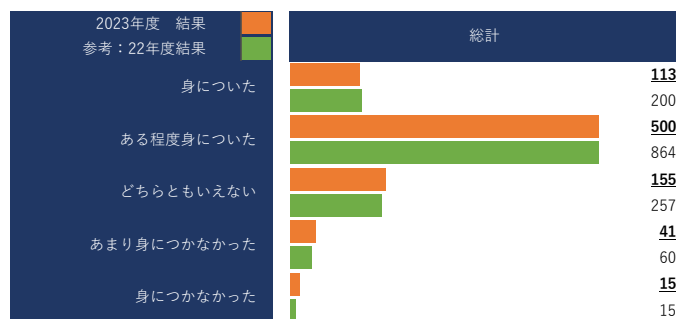
「大いに推奨」を10、「推奨しない」を0として、推奨度を計ったところ、全体の平均値が6.21となり、昨年度同様高い水準となっている。

得た知識・技能を今後どのように活かすか



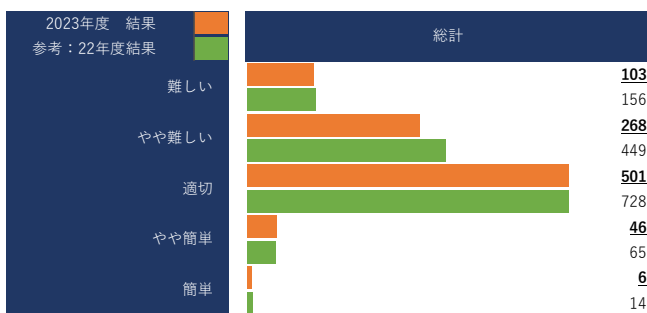
得た知識・技能を今後どのように活かすかについては、「社会人になったとき、仕事等での活用」が59.6%と最も多くなっており、次いで「データサイエンスやAIなど、関連する科目の履修」が37.6%となっていることから、プログラムの到達目標に合致した結果となっている。

修得度について



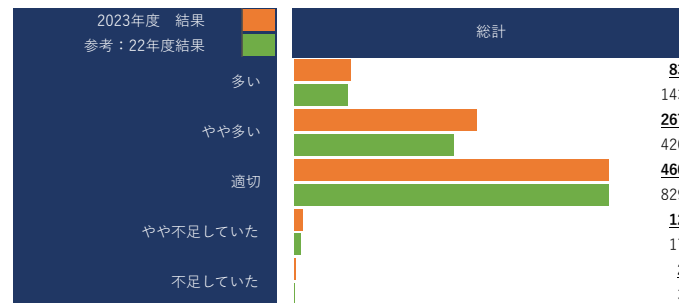
修得度については、「身についた」「ある程度身についた」を合わせると74.4%を占めており、修得度は高いと考えられる。

難易度について



難易度については、「適切」が60.8%、「やや難しい」が32.5%となっており、概ね適切な難易度になっていると考えられる。

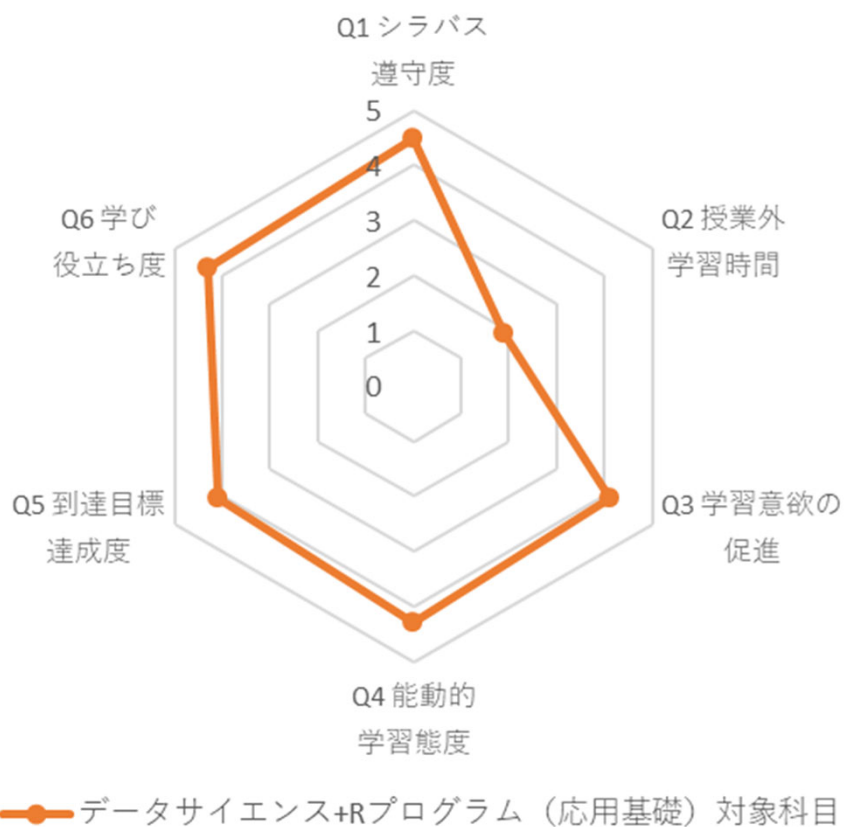
授業内容量について



授業内容量については、「適切」が55.8%、「やや多い」が32.4%となっており、概ね適切な授業内容量となっている。

授業アンケート結果 —データサイエンス+R(応用基礎)—

授業内容について



設問	回答平均値
Q1.シラバス遵守度	4.5
Q2.授業外学習時間	1.9
Q3.学習意欲の促進	4.1
Q4.能動的学習態度	4.3
Q5.到達目標達成度	4.1
Q6.学び役立度	4.3

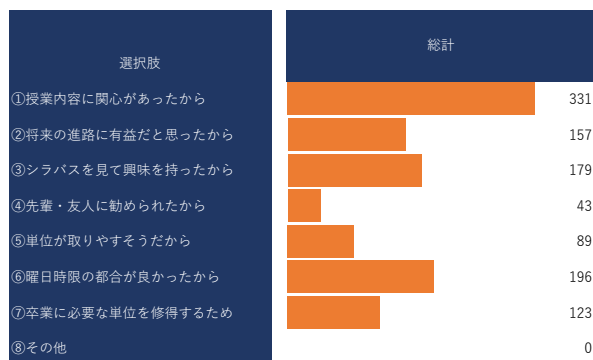
※Q1: 5点:行われた 4点:ある程度行われた 3点:どちらともいえない 2点:あまり行われなかった 1点:行われなかった
 ※Q2: 5点:180分以上 4.375点:150分以上180分未満 3.75点:120分以上150分未満 3.125点:90分以上120分未満 2.5点:60分以上90分未満 1.875点:30分以上60分未満 1.25点:30分未満 0.625点:しなかった
 ※Q3: 5点:そう思う 4点:ある程度そう思う 3点:どちらともいえない 2点:あまりそう思わない 1点:そう思わない
 ※Q4: 5点:取り組んだ 4点:ある程度取り組んだ 3点:どちらともいえない 2点:あまり取り組まなかった 1点:取り組まなかった
 ※Q5: 5点:達成できた 4点:ある程度達成できた 3点:どちらともいえない 2点:あまり達成できなかった 1点:達成できなかった
 ※Q6: 5点:役立った 4点:ある程度役立った 3点:どちらともいえない 2点:あまり役立たなかった 1点:役立たなかった

「シラバス遵守度」「能動的学習態度」「学びの役立ち度」で高い値を示している

「シラバス遵守度」が4.5ポイントと高い数値となっているのは、モデルカリキュラムに沿った授業が展開されたことを示している
 また、「学習意欲の促進」「能動的学習態度」が（基礎）と比べ、高い数値となった1つの要因として、文理を問わず知識・技能を修得できるよう導入した独自LMSの影響もあると考えられる

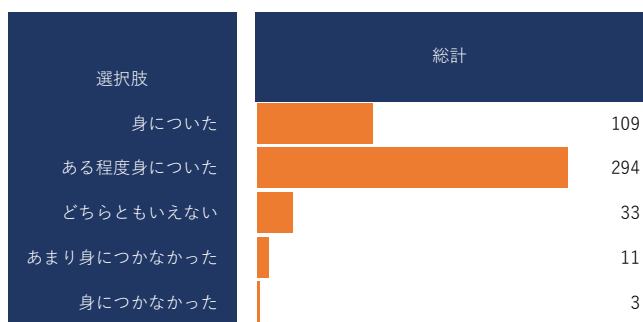
授業アンケート結果 —データサイエンス+R(応用基礎)—

履修動機について



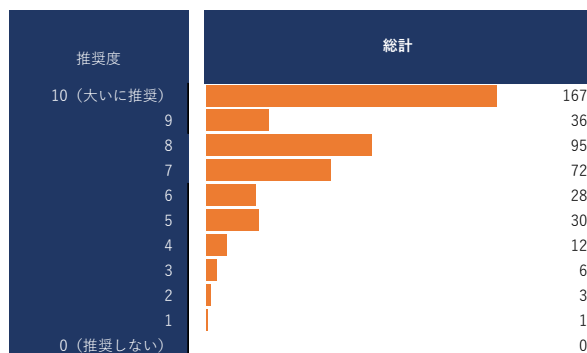
履修動機については、「授業内容に関心があった」が最も多く、次いで「曜日時限の都合が良かったから」が多くなっている

修得度について



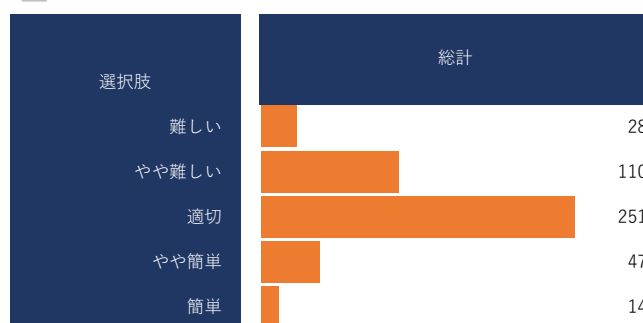
修得度については、「身についた」「ある程度身についた」を合わせると89.6%を占めており、高水準で修得できているのではないかと考えられる

推奨度について



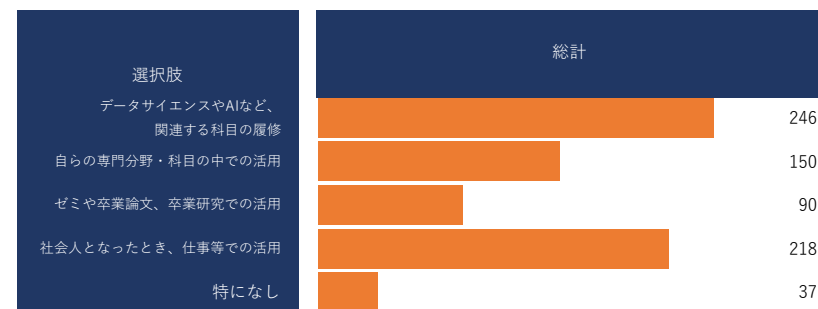
「大いに推奨」を10.「推奨しない」を0として、推奨度を計ったところ、平均値が8.11となり、(基礎)と比較しても高い推奨度を有している

難易度について



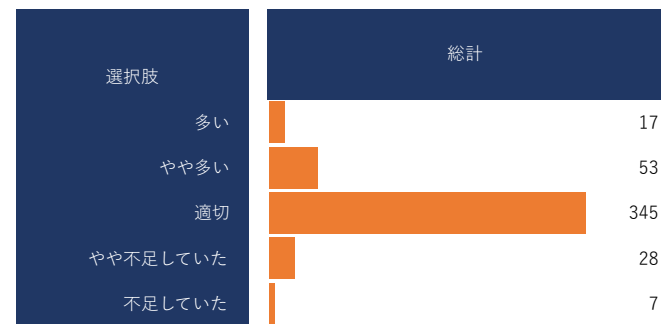
難易度については、「適切」が55.8%、「やや難しい」が24.4%となっており、概ね適切な難易度になっていると考えられる

得た知識・技能を今後どのように活かすか



得た知識・技能を今後どのように活かすかについては、「データサイエンスやAIなど、関連する科目の履修」が54.7%と最も多くなっており、次いで「社会人となったとき、仕事等での活用」が48.4%となっていることから、プログラムの到達目標に合致した結果となっている

授業内容量について



授業内容量については、「適切」が76.7%、「やや多い」が11.8%となっており、概ね適切な授業内容量となっている